

下部消化管内視鏡(大腸カメラ)の日程表<当日入院の患者さん> 1/3

検査前日(/)

検査当日(/)

検査前

抗凝固薬()は 月 日から内服を中止してください

8時30分に入退院受付にお越しください

☆入院時持参するも

☆抗凝固薬以外の常用薬はいつものように飲んでください

☆検査前日の食事☆

・大腸の中に食べ物のかすが残らないようにするため、繊維脂肪の多い食品、粒(たね)のある食物は避けて、消化のよいものを食べてください

《食べて良い食品》

- * 繊維の少ない物
白米、うどん、食パン、
じゃがいも、豆腐、はんぺん
ゼリー、プリン
- * 脂肪の少ない物
ささみ・白身魚などの脂の少ない物
- * 粒(たね)のない野菜や果物
バナナ、りんご、桃、

《食べてはいけない食品》

- * 繊維の多い物
ほうれん草、小松菜、ごぼう、ねぎ類
れんこん、こんにゃく、しらたき、豆類
わかめ、ひじき、竹の子、きのこ、
雑穀米、玄米
- * 脂肪の多い食物
脂の多い肉(ステーキなど)
脂の多い魚(大トロなど)
ヨーグルト
- * 粒(たね)のある野菜や果物
とうもろこし、ごま、トマト、キウイ、みかん、いちご

☆検査前日の飲み物☆

・水分は飲んでもかまいませんが、注意するものがあります
・水分制限をされている方は、主治医の指示に従ってください

《飲んでよい飲み物》

- * 水、お茶、麦茶、紅茶、コーヒー
- * スポーツドリンク
- * 果肉なしジュース

《飲んではいけない飲み物》

- * 左記以外の飲み物は、飲まないでください

※糖尿病の方は糖分の含まれる飲み物はお控えください

☆検査前夜☆

- ・夜9時以降は、検査が終わるまで何も食べないでください
- ・水、お茶、スポーツドリンクは飲んでもかまいません
- ・夜9時にセンノシド錠(ピンクの錠剤)2錠を飲んでください

・入院日程表、入院のしおり、基礎情報用紙、入院診療計画書、入院証書、特別療養環境入室申込書、診察券、保険証、保証金、現在内服している薬、お薬手帳、下着類、ティッシュペーパー、かかとのある靴、洗面用具(石鹸・歯ブラシ・歯磨き粉・髭剃り)、その他、補聴器(ケース)、眼鏡(ケース)、入れ歯ケースなど必要なもの

【注意事項】

- ・糖尿病のお薬は飲まないでください
- ・インスリン注射はしないでください
- ☆糖尿病の薬以外の常用薬は指示の時間に自宅で飲んでください(抗凝固薬は除く)
- ・検査が終わるまで食事はできません

【入院後】

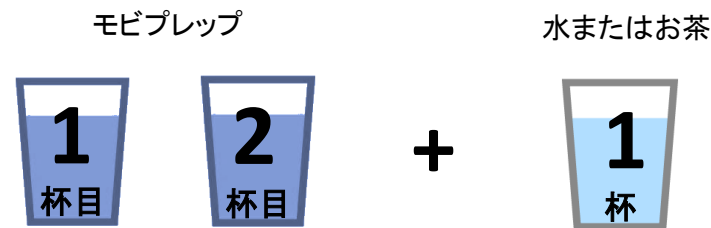
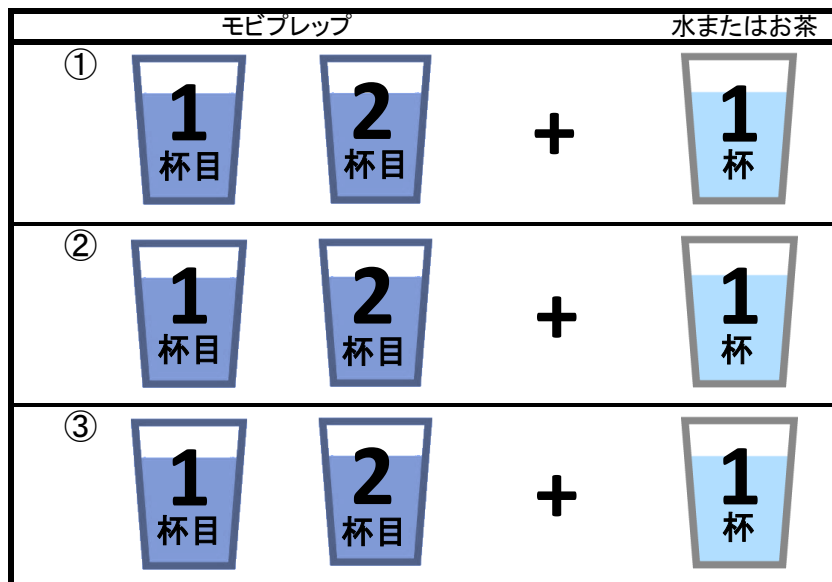
- ・病棟担当看護師が、入院説明を行います
- ・下剤服用前に、検温を行います
- ・下剤の服用方法は、別紙を参照してください
- ・ポータブルトイレが必要な方は、あらかじめお声かけください
- ・着替えるときは看護師が声をかけます
- ・浴衣式の病衣に着替え、検査用パンツにはきかえます
- ・検査用パンツは穴が開いている方が、後ろ側になるようにはいてください
- ・オムツを着用する方は、オムツの上に検査用パンツをはいてください
- ・金属の付いているものはすべて外してください(指輪、ピアス、時計、義歯、ヘアピン、ネックレス、ブラジャー、コルセット、湿布、ボディスーツ)
- ・貴重品は金庫に入れてください
- ・Tシャツなど金属が付いていなければ病衣の下に着けてもかまいません
- ・排便が落ちついたら、点滴をはじめます

入院に関してご不明な点は、こちらに連絡してください
<連絡先> 練馬総合病院 予約した外来へ 03-5988-2290

【下剤:モビプレップ服用方法】 ※午前9時30分から飲み始めます

ステップ1 モビプレップをコップ1杯(約180ml)あたり10-15分かけて①、②、③と飲んでください。

ステップ2 下記の【便の状態の見本】の④になれば、検査可能です。ただし、ステップ1が終了しても【便の状態の見本】の④のような便にならない場合は、ステップ2を繰り返してください。



便がきれいになった時点で、モビプレップの服用を中止してください。

【下剤服用時の注意事項】

- ・早い人では飲み始めて30分程度で下痢が始まります
- ・下痢が始まってもステップの①、②、③は実施してください
- ・約1Lのモビプレップを飲むこととなります
- ・コップ1杯分の下剤を10～15分かけるより速く飲んだ場合、腸に穴が開いたり、腸が詰まる可能性があるため、
一気飲みはしないでください
- ・味が好みでないなど、飲みづらく、どうしても10～15分で1杯を飲むことが難しい場合は、1杯20～30分程度までなら、時間をかけても下剤の効果に影響ありません

【服用中・服用後の注意】

- ・看護師が排便回数、便の状態を確認します
- ・水っぽい便(下記見本の③～④)になったら、流さずにお知らせください
- ・便の状態によっては浣腸をすることがあります
- ・次の方は、看護師にお知らせください
 - * 下剤を飲むことができない方
 - * 服用中、吐いたり、腹痛、めまい、ふらつきが出現した方
 - * 全部飲んだ後1時間経っても排便がない方
- ・便がきれいになった後も、脱水予防のために水またはお茶を摂ってください

【便の状態の見本】

※便が④の状態になったら点滴を開始しますので、看護師にお知らせください



下部消化管内視鏡(大腸カメラ)の日程表<当日入院の患者さん> 3/3

次回来院日
(月 日)

検査当日(/)

翌日(/)

検査中

検査後

退院後の生活

・抗凝固薬()は
月 日から内服を再開して

退院後に激しい腹痛や下血(少量の出血は心配いりません)があったら
病院(下記の連絡先)に連絡を
してください

練馬総合病院 03-5988-2290
予約した外来までお問合せください
夜間・休日は救急外来対応となります

☆退院後の生活☆

・**食事**
1週間ほどは消化の良い物を取りましょう
辛いもの、ニンニクなどの刺激物、アルコールは
1週間避けてください

・**仕事**
力仕事は腹圧がかかりますので、1週間
避けてください

・**運動**
どんな運動(自転車、ゴルフなど)も少なからず
腹圧がかかりますので1週間避けてください

・**入浴**
長い入浴は血行がよくなり出血しやすくなります
治療翌日はシャワー浴にしてください
2日目以降はぬるめで短時間の入浴とし、
1週間後以降は通常の入浴がかまいません

・**旅行**
1週間避けてください

・医師の診察後、10時までに会計を済ませて
退院となります

・特に制限はありません

・糖尿病の患者さんは朝に血糖値を測ります

・7時に採血をします

・8時にお腹のレントゲンをとります

・採血、レントゲンを確認後、問題がなければ
10時までに会計を済ませて退院になります

・朝食の時間には検査の結果がでていません
ので朝食は配膳されません
食事は退院後にお召し上がりください

・抗凝固薬以外の普段飲んでいる薬は、
朝食時から再開します

※治療によっては、1泊2日で退院できない場合
があります

・退院が出来ない場合は再度点滴が始まります

※保険請求について
ポリープを取った場合は手術あつかいとな
りますので、ご加入の保険会社にご
相談下さい。

・車椅子で病室に戻ります
* 病室に戻ったらベッドに横に
なって30分~1時間休んでください

・点滴終了後、点滴の針を抜きます

・夕方から食事ができます

・抗凝固薬以外の普段飲んでいる薬は、
夕食時から再開します

・糖尿病の患者さんは食事摂取可能な
場合は、インスリン注射・糖尿病の薬
を再開します

・シャワーをご希望の方は、予約して
ご利用ください
また、清拭用のタオルをご希望の方は、
看護師に伝えてください

・車椅子で病室に戻ります
* 病室に着いたらベッドに横に
なって30分~1時間休んでください

・食事はできません

・水は飲んでもかまいません

・翌朝まで点滴をします

・糖尿病の患者さんは、帰室時と
就寝時に血糖値を測ります

・入浴、シャワーは出来ません

検査後に腹痛や下血があったら
(少量の出血は心配いりません)
すぐに医師か看護師に
連絡してください



・便の状態によって検査の時間が変更になることがあります

検査は午後からです
検査時間は30分から1時間程度です



・検査時間になりましたら、看護師がお知らせします

・検温を行い、トイレを済ませ、
内視鏡センターに移動します

・検査は横になって行い、途中で体の向きを変えてもらう
ことがあります

・カメラで腸の中に、空気を入れますので、お腹がはって
きたらおならを出してください

・ポリープがあれば、治療します

痛みどめの薬と眠くなる
薬、
胃腸の動きを止める薬を
注射する場合があります



ぐっすり眠るわけではなく
医師の声は聞こえます

検査中、
痛かったり苦しかったら
我慢せずに言ってくだ



・検査終了後、一時的に紙パンツをはきます

